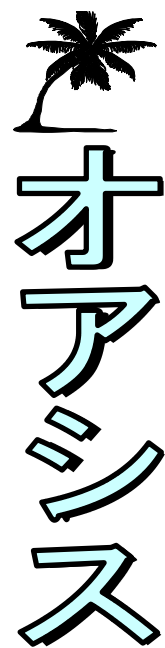


ガザのジェノサイドSTOP

日立ジョンソンコントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2024年6・7月

No. 103

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL

090-9121-0602

現在イスラエルによるパレスチナ住民のジェノサイド（集団殺りく）が行われています。昨年10月7日にガザ地区を統治するハマスが、イスラエルに向けて奇襲攻撃をし、それに反撃する形でイスラエルからのパレスチナへの攻撃が始まりました。死者数は、ガザ地区のパレスチナ側で約3万6千人、イスラエル側で約千2百人となっています。

なぜこの戦争は起きたのか

イスラエルとパレスチナの紛争は、宗教的対立が根本原因ではありません。19世紀以降、中東地域はヨーロッパ列強の植民地とされ、第一次大戦後、イギリスの統治下において「入植者国家」の建設が開始されます。そして1948年にイスラエルが建国され、パレスチナ住民が故郷を追い出されました。1967年以来、イスラエルは、パレスチナ（ガザ地区、ヨルダン川西岸地区）を占領してきました。ガザ地区は2007年以降、イスラエルにより壁やフェンスに囲まれた封鎖状態となり「天井のない監獄」と呼ばれ、経済的に窮地に追い込まれてきました。その結果、今回の紛争前にも、幾度となくイスラエルとハマスの交戦が続いてきました。イスラエルによる病院への攻撃等により女性や子どもの犠牲が多く発生し、食糧の供給、水の供給も滞る状況が続いています。

戦争を支援する国家も

一方で、イスラエルとハマスの戦闘が始まった昨年10月以降、バイデン米政権がイスラエル政府に少なくとも1万4千発の無誘導爆弾や3千発のヘルファイア空対地ミサイルな

どを供与したとロイター通信が報じました。同月以降のイスラエルへの軍事支援は65億ドル（約1兆450億円）に上ります。このような対応に対して、反発が起きています。

全米各地の大学で起きるデモ

アメリカ国内の各大学において、イスラエルによるガザ地区攻撃に反対するデモが行われています。これらは、大学内に、テントやバリケードを設置して行う等もあり、多数が、警察に強制排除されました。また、数百人に及ぶ逮捕者が出ています。しかし、アメリカ政府は、イスラエルへ軍事支援を続けています。

国際社会の対応

南アフリカ共和国は、国際司法裁判所（ICJ）にイスラエルを「ジェノサイド（大量虐殺など集団の破壊を意図する行為）条約違反」で訴えました。その結果、ICJは、イスラエルに「暫定措置命令」を出しました。内容は、①ガザでのパレスチナ人殺害や加害、出産の阻害といった行為を防止するために、あらゆる措置をとること。②イスラエル軍が上記①のいかなる行為も行わないことを直ちに保証すること。③イスラエルは、ガザのパレスチナ人への大量虐殺を公然と扇動する行為を防止し処罰する措置をとること。④ガザで緊急に必要とされる基本的サービスと人道支援の提供を可能にする即時かつ効果的な措置をとること。⑤証拠の破壊をしないこと。⑥命令に基づいた措置について、1カ月以内に報告書を提出すること。

国際社会の声で、一刻も早く戦争終結に進むことが求められています。